

# 平成30年度事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人 海原会

## 平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和42年5月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和54年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も700名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっていることは遺憾ながら否めない現実であります。30年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の活動に従事するかたわら、会員の募集にも力を入れて参りましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。

次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、平成30年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

### I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。平成30年度は若葉薫る5月に実施いたしました。初夏の香りを感じさせる快晴のもと約300名のご遺族・同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。その主要なものは以下に記述するとおりであります。

#### 1 慰霊事業

##### (1) 第51回予科練戦没者慰霊祭

##### ア 特別展示会

平成30年4月24日(火)～5月20日(日)の間、雄翔館において、海原会参与の行方滋子氏の所蔵遺品及び資料展を開催しました。

期間中、約1,500名の見学をいただき成功裏に終了いたしました。

## イ 第51回予科練戦没者慰霊祭

### (ア) 予科練戦没者を偲ぶ集い

慰霊式典の前日 平成30年5月19日(土) 午後6時からホテルマロウド筑波において、「予科練戦没者を偲ぶ集い」を開催いたしました。武器学校副校長をはじめ、79名の出席者をお迎えして、約2時間に及ぶ偲ぶ集いは和やかな雰囲気で行われました。ご遺族の皆様は、終了後にホテル最上階のレストランにおいて、引き続き懇親の実をあげられ、遺族の皆さんからは、来年度以降も引き続き計画して欲しい旨の希望が多く事務局に寄せられました。

海原会としては、この集いで得られた絆をベースとして、ご遺族・同窓のネットワーク構築を促進することができました。

### (イ) 慰霊祭

a 日 時 : 平成30年5月20日(日) 午前10時半から12時半

b 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

c 内 容

#### (a) 「土浦海軍航空隊の碑」建立

愛知県在住の篤志家佐藤まり子様から「旧土浦海軍航空隊の跡地」を記念する「土浦海軍航空隊の碑」が武器学校に寄贈され、土浦駐屯地通用門付近に建立しました。

海原会が主催して、その除幕式を実施しました。

○寄贈者 佐藤まり子様(愛知県岡崎市在住)

◇ 地鎮祭 2月27日(火) 14:00～15:00

武器学校長他20名の関係者に参集いただき、大杉神社宮司の催行により地鎮祭を実施し工事の安全を祈願しました

◇ 除幕式 5月20日(日)

武器学校長他約20名の関係者に参集頂き、慰霊式典に先立ち除幕式を実施しました。

#### (b) 慰霊式典

○ 式典開始に先立ち、本年4月6日にご逝去された前理事長 故 堺周一氏に対する黙禱が行われました。

- 実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・黙祷・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・遺稿朗読・献花の後、ご来賓代表として海上自衛隊教育航空集団司令官 海将 西成人 様、及び陸上自衛隊 武器学校長 眞弓康次 様並びに阿見町町長 千葉繁 様のご挨拶に引き続き、ご遺族代表、甲飛12期 故海軍少尉 廣嶋忠夫様の弟 廣嶋文武様のご挨拶をいただきました。

その後、参加者全員で若鷺の歌を合唱して約300名の出席者全員で戦没予科練生の慰霊と日本の平和を祈る時間を過ごすことができました。

- 本年度は昨年度に引き続き鎮魂歌「君らここに甦れ」を、日本合唱指揮者協会理事の大門康彦氏に奉唱いただきました。

#### (c) 直 会

慰霊式典に引き続き、約300名のご遺族並びにご来賓の皆様と共に、直会を実施しました。直会では、葉梨衛茨城県議会議員の献杯のご発声に引き続き、勝田駐屯地施設学校音楽隊の演奏する軽音楽に耳を傾けながら、有意義なひと時を過ごすことができました。

- d 慰霊祭開催にあたりご協力を戴いた団体等は以下のとおりです。

陸上自衛隊武器学校（武器教導隊）

陸上自衛隊武器学校OB会

陸上自衛隊施設学校

海上自衛隊下総航空基地

海上自衛隊小月航空基地

阿見町予科練平和記念館

阿見町交通安全母の会

阿見町更正保護女性の会

学校法人霞ヶ浦高等学校

日の丸飛行隊

#### (ウ) 慰霊祭反省会

6月20日（水）13時から武器学校広報班において、反省会を実施しました。海原会からは、実行委員長の酒井副理事長、平野理事、徳永支部長が出席、支援していただいた武器学校OB会の代表及び広報班の担当者に出席していただき、第52回慰霊祭に向けて貴重な意見を聴取することができました。

(2) 全国各地で挙行された慰霊祭等への参加

- 平成30年 4月 4日 予科練雄飛会慰霊祭 於：靖国神社  
予科練雄飛会最後の慰霊祭が開催され、海原会から酒井副理事長、助村理事、平野理事、豊岡監事、津島評議員、行方参与が参加
- 29日 世田谷特攻観音寺 特攻隊戦没者慰霊献茶会  
酒井副理事長が参加
- 6月 3日 筑波海軍航空隊慰霊祭  
酒井副理事長、平野理事、行方参与が参加
- 23日 第46回静岡空襲日米合同慰霊祭  
於：静岡市内賤機山山頂  
菅野副理事長が主催、酒井副理事長、平野理事、行方参与が参加
- 7月 7日 大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社  
酒井副理事長、助村理事、平野理事が参加
- 9月23日 第67回特攻平和観音年次法要  
於：世田谷観音寺内特攻観音堂  
安井副理事長、平野理事、行方参与が参加
- 平成31年 3月30日 特攻隊全戦没者慰霊祭  
於：靖国神社  
平野理事、岩館評議員、津島評議員、脇田参与、行方参与が参加

2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。30年度は、ご遺族から提供いただいた20点の遺品等を整理保管いたしました。

イ 雄翔館入口周辺部分のレイアウトの見直しを完了しました。

(2) 遺族支援調査

ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。本年度は新たに6名の御遺族を特定することができ4

名の方が入会していただきました。

(3) 海原会会員の入退会状況

本年度は、66名の方が退会され新たに24名の方が入会されました。

年度末現在における会員数は、620名です。

(4) 陸上自衛隊との連携

当会の最重要事業である予科練戦没者慰霊祭を催行するにあたり、多くの協力をいただいている陸上自衛隊武器学校（武器教導隊を含む）及び陸上自衛隊施設学校との連携の強化を図りました。

ア 武器学校観桜会への参加

4月7日（土）に土浦駐屯地で開催された、観桜会に酒井副理事長、平野事務局長、徳永霞ヶ浦支部長、助村理事が参加した。

イ 武器学校開設記念行事への参加

11月10日に開催された 陸上自衛隊土浦駐屯地開設66周年記念行事に酒井副理事長、平野事務局長、徳永支部長が参加した。

ウ 施設学校開設記念行事への参加

11月4日に開催された 陸上自衛隊勝田駐屯地開設記念式典に理事長代理で徳永霞ヶ浦支部長が参加した。

エ 施設学校音楽隊後援会への入会

毎年、予科練戦没者慰霊祭で音楽演奏の協力をいただいている陸上自衛隊施設学校音楽隊の後援会に入会し、より緊密な支援受けの態勢を確立した。

(5) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式に参列

酒井副理事長が、4月7日に行われた第70期航空学生の入隊式に参列しました。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

6月に計2回にわたり海上自衛隊航空学生約70名の皆さんが行った予科練平和記念館と雄翔館の研修をしました。

ウ 下総基地観桜会への参加

4月6日に開催された、下総基地観桜会に酒井副理事長、平野理事が参加しました。

エ 洋上懇談会

9月12日、千葉港で行われた洋上懇談会に横須賀地方総監のご招待をいただき、菅野理事長ご夫妻、篠田理事ご夫妻、平野理事、行方参与が参加しました。

#### オ 下総基地開設記念行事

10月20日に開催された下総基地開設記念行事に、安井副理事長、平野理事、行方参与が参加しました。

### II 定期刊行物発行业務

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来450号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図っていきたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

#### 1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

#### 2 機関誌の発行

計画どおり、第445号から第450号までの6回の機関紙の発行を行いました。

### III 青少年育成支援事業

青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったうえ支援を行うように努めましたが、今年度は特に新しい支援候補団体の推薦はありませんでした。本年度は、例年実施しております雄翔園所在地元の阿見町が主宰する球技大会に助成を行いました。

### IV 庶務事項

#### (1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成30年4月19日、5月17日、6月14日、7月19日、8月30日、  
9月20日、10月18日、11月13日、12月13日、  
平成31年1月17日、2月14日、3月14日

#### (2) 編集会議

機関誌月刊「予科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しました。

#### (3) 平成30年度評議員会開催

平成30年6月14日 霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成30年

度事業計画・収支予算書、平成29年度事業報告に関する報告を行うとともに、平成29年度の収支決算報告・会計報告について審議を行い、賛成多数で異状なく承認されました。

(4) 会計監査

平成30年4月10日 海原会会議室において、平成30年度の評議員会の開催に先立ち、平成29年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成29年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。

平成30年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 菅野 寛也